

佐用高等学校
同窓会報

塔 陵

発 行 所
兵庫県佐用郡佐用町佐用260

兵庫県立

佐用高等学校同窓会

電話 0790 (82) 2434代

FAX 0790 (82) 2719

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~sayohs/>

印 刷 所

谷本 弘輝 堂



ごあいさつ



同窓会長 谷 本 学
高校(昔)二十一回卒

大撫山の麓、千種川の清流と文字通り「山紫水明」の地に、一〇〇年の歴史を刻み、二万余の先輩達が築いてこられた伝統が、今も脈々と受け継がれる佐用高等学校。青春のページを語る時、懐かしく思い起こされるのは佐用高校での三年間の思い出・・・。

会員の皆さまには益々ご清祥にてご活躍のことと心からお喜びを申し上げます。

申し遅れましたが私、八月に行われました同窓会総会におきまして、会長のご指名を受け就任致しました。歴代の会長様方とは比べるべくもなく、浅学非才は承知いたしておりますが、母校佐用高等学校の一〇一年目からの新しい同窓会創りの一端を担わせて頂ければ、とお引受けいたしました。どうかよろしくお願いいたします。

この度、退任されました、石堂剛本前会長におかれましては、一年間の永きにわたり同窓会の運営にご尽力賜り、また一〇〇周年の事業を見事に成し遂げられました。会員一同になり替わりまして心より感謝申し上げます。

さて昨年の創立一〇〇周年には多大のご支援、ご寄付を賜り厚く御礼申し上げますとともに、八月九日佐用町を襲った台風九号による災害により縮小を余儀なくされましたが、無事に記念の式典が挙行出来ましたことに重ねて御礼申し上げます。特に同窓会館の建設改修は、長年の懸案でもあり、変わりゆく佐用高校において唯一その面影を残している建物です。名称も「塔陵館」とし同窓生の皆さんが親しく集まれる場、また在校生の合宿の場として、大いに利用して頂ければと考えています。

母校佐用高等学校のさらなる発展のため、会員の皆さまからのより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

さざれいしのいわおとなりて



校長

小林 隆

同窓生のみなさま、いかがお過ごしでしょうか。今年もまた「塔陵」発行の季節となりました。昨年は、記念すべき百周年の年にあたりながらも、県立高校では採点ミスに始まり、新型インフルエンザ騒動、そして町内に大きな被害をもたらした水害とくらしい話題の多い一年でありました。

さて本年は、まだ記憶に新しいところですが第九十二回高校野球兵庫大会ではベスト十六(参加百六十一チーム)と勝ち進み、昨年の水害ボランティアでの活躍も評価され西田主将が甲子園での全国大会開会式入場行進の先導役に選ばれた栄誉を拝しました。

十一月七日には篠山で行われた高校駅伝では順位こそ奮いませんでしたが、男女ともに地区予選の記録を大幅に上回る健闘を見せました。現在も更新中の陸上部の三十七年県大会連続出場(地区代表)は県下でも一、二位を争うすばらしい記録です。新興の須磨学園がいかにすばらしい記録を出そうが、連続出場の記録は永久に破られることはないと思います。

十一月八日、秋篠宮妃紀子様ご臨席のもと日本赤十字社兵庫支部百二十年記念大会に招待され、千五百人の来場者の前で、本校JRC部の長年の功績に対し井戸敏三知事より特別感謝状をいただきました。

西播地区では平成二十三年度入試から普通科における複数志願制度が導入されます。西播地区普通科を有する学校、すなわち佐用、赤穂、相生、伊和、上郡、龍野、山崎の七校から受験生は、第一、第二志望に加えその他校と三度の合格の機会が与えられることになり、本校の教育活動をより正しく理解いただき、本校が第一志望校として選ばれるよう広報活動に努力しますとともに地域の方々のご協力・ご支援をよろしく願います。

昨年十月二十四日、百周年記念式典に先立って行われた清祓(きよはらえ)の儀より改修にとりかかった同窓会館は若干完成が遅れたものの、今年五月には完成披露の会を行ったところです。会員のみなさまのおかげと感謝をしております。会館は「塔陵館」と命名し、

合宿、会合等に有効に利用させていただいております。

さて、「さざれいしのいわおとなりて」はいままでもなく国歌の一節であります。さざれいし(細石)が巖(大きな石)となつてというような意味でしょう。もちろん自然界では大きな石が砕けて、小さな石となることは古代の人々も知っていたはずだと思います。

いあいおひ



前同窓会長

石堂 則本

同窓会の皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。

前中川嘉一さんより引き続き11年にわたり伝統ある佐用高校の同窓会長を務めさせて頂き、無事に退任出来たことに、会員皆様に心より感謝申し上げます。その間、時代は大きく変化し、私自身も戸惑うことの多い時代でありました。その中で多くの生徒が世の中に出て活躍している事が最も喜びとする所であります。

昨年は大変な水害に見舞われ多くの犠牲者と被害に遭遇致しました。在校生、同窓生も被災者が多くあ

この歌には、小さなひとつひとつの力を合わせれば大きな力となる、の意味があるのではないかと思っています。今後、在校生、教職員、同窓生のみなさまのお力を借りつつ大きな巖を築いていきたいと思っています。



り、改めてお見舞い申し上げます。

今後は全力をあげて皆で復興に取り組みなければなりません。

又昨年は本校の百周年の記念すべき年でありました。私が会長就任以来の大きな懸案でありました。会員、職員、役員、在校生の献身的なご努力により無事に終えたことに、心からの感謝とお礼を申し上げます。

今後は一会員として少しでも母校のため貢献できればと思います。

谷本新会長のもと、益々佐用高校が発展されることを祈念し、退任のご挨拶と致します。

特 志 寄 稿

「苦大楽大」



西宮市長

河野 昌 弘

(昭和三十九年卒)

私は佐用高校普通科を昭和三十九年三月に卒業した河野昌弘です。卒業と同時に西宮市役所に勤務し、今年の五月、西宮市長選挙に立候補し、母校の皆様のおかげで御支援を頂き当選、現在市長として五ヶ月が過ぎたところです。

市長という大役をなどとは予想だにできなかった事で、我ながら驚いています。公務員の私は、市民の税金で生かされているという事を片時も忘れず、二十四時間公務優先という考え方の基に職務に精進しました。また、困難なことがあっても、どうす

ればこの難局を乗り切れるか考え、そのことから逃げるのではない様に努めました。このように出来たのも、両親が「苦労は買ってでもすること。」と教えてくれましたので、小学校高学年時代に、自分で「苦大楽大」という四字を考え、これを墨で書き、机の上に貼りまして勉強しました。これは、苦労が大きければ大きいほどこれに挑戦し頑張れば、その後には必ずそれ以上の楽しい事が結果として付いて来るという意味です。何事にも泣き言を言わず前を向いて歩む事としました。この度の選

挙の出馬にあっても大いに悩みに悩みました。それでも佐用高校の恩師の「天命だ。頑張れ。」の一言で挑戦することを決意しました。そして多くの皆様のご支援で私の今日があります。

どうか佐用高校に学ばれている後輩の諸君、勇気をもってあらゆる事に挑戦し、前を向いて歩いてください。結果は必ず付いてきます。心から声援いたします。

母校そして同窓生の皆様本当に有難うございました。



創立100周年記念事業募金のお礼

100周年記念事業の一つである同窓会館改修のため募金をお願いしておりましたところ、多くの方々にご協力いただき心からお礼申し上げます。

募金総額 35,253,671円
4,658件

募金は、すべて同窓会館の改修費用として、使わせていただきました。

前回、同窓会報「塔陵」31号 発行以降に募金をいただいた方のご芳名を掲載させていただいておりますので、ご了承ください。

■寄附者名簿

昭和17年卒	福	田	智
昭和22年卒	山	本	深
昭和45年卒	山	本	智 志
昭和49年卒	山	口	正 光
昭和51年卒	山	口	誠
旧職員	尾	崎	啓 一
	船	引	ゆあみ
教職員	津	田	克 子

訂正

前回、名簿に誤りがありましたので、訂正しお詫びいたします。

(誤) 個人 祐保俊彦 (正) 昭和35年卒 祐保俊彦

同窓会館の改修

皆様の募金により、思い出と暖かみのある木造平屋建ての同窓会館を改修し、資料室、研修室、調理室、浴室等を設置し、多目的に活用できる施設としました。

平成22年5月22日(土)に完成披露会を行い、55名の見学者がありました。

また、平成22年8月20日付けで、兵庫県へ寄附受納し、県有施設として、今後、維持管理していきます。

- ・調査・測量 谷口展昭事務所 土地家屋調査士
谷口展昭 (高26)
- ・設計・管理 岡野1級建築設計事務所
岡野民男 (高18)
- ・施 工 有限会社 大進建設
代表取締役 岡本大志 (高47)

創立100周年記念事業収支決算書(会館建設)

収入総額 36,410,515円

支出総額 36,410,515円

差引残額 0円

(単位 円)

収入の部	科 目	金 額	備 考
	寄 附 総 額	35,253,671	100周年記念事業寄附金 4,658件
	補 助 金	1,156,844	同窓会特別会計から
	計	36,410,515	

(単位 円)

支出の部	科 目	金 額	備 考
	建 設 費	34,917,221	同窓会館改修費用
	工 事 費	1,098,614	周辺整備等
	物 品 購 入 費	58,230	流し台等
	振 替 手 数 料	336,450	郵便振替手数料 (加入者負担)
	計	36,410,515	

兵庫県立佐用高等学校塔陵館管理運営規則

(名称)

第1条 兵庫県立佐用高等学校同窓会が会員と会員以外から寄付を募り同窓会館を改修し、兵庫県教育委員会に寄贈した同窓会館を「兵庫県立佐用高等学校塔陵館」(以下「塔陵館」と呼称する。

(目的)

第2条 本規則は、兵庫県立佐用高等学校生・同窓会員・PTA・地域住民の教育活動の拠点として広く利用するための規則である。

(運営主体)

第2条 名称は塔陵館であるが、兵庫県立佐用高等学校の一施設として兵庫県立佐用高等学校長が管理運営にあたる。

(会計)

第3条 塔陵館の会計は兵庫県立佐用高等学校があたる。

(維持管理)

第4条 塔陵館の維持管理は兵庫県立佐用高等学校があたる。

(施設の利用)

第5条 塔陵館の利用にあたっては、塔陵館利用細則を遵守しなければならない。利用細則は別に定める。

附 則 この規則は、平成22年8月20日から施行する。

塔陵館利用細則（抜粋）

- 第1条 塔陵館を利用できる者は、次のとおりとする。
- (1) 兵庫県立佐用高等学校（以下「本校」という）の職員及び生徒
 - (2) 本校同窓会（以下「同窓会」という）の会員
 - (3) 本校PTA（以下「PTA」という）の会員
 - (4) 上記(1)～(3)の会員等が主催又は合同で行う会員以外の会館の利用者
 - (5) その他、兵庫県立佐用高等学校長（以下「校長」という）が適当と認める者

第2条 利用申込

- (1) 本校職員の場合
管理責任者に連絡し、その了承を得るものとする。
- (2) 本校生徒の場合
本校職員の指導する者に限るものとする。、前納しなければならない。
- (3) 前条(2)～(5)の場合
様式第1（別紙）より、兵庫県立佐用高等学校塔陵館利用許可願（以下「許可願」という）を提出しなければならない。
許可願は、利用の1週間前までに利用責任者が管理責任者に提出しなければならない。

第3条 利用上の注意

- (1) 塔陵館の利用にあたっては、設立趣旨を理解し、許可書に明示された使用上の注意を遵守しなければならない。
- (2) 利用後の点検
利用責任者は、利用が終わったときは、次のことを点検しなければならない。
ア 火災の予防をすること。
イ 建物の保全をすること。
ウ 器具の保全をすること。
エ 戸締まりをすること。
オ 消灯をすること。

第4条 使用料

- (1) 会員等でない者が塔陵館を利用したときは使用料を徴収する。
- (2) 使用料は、県の使用料及び、手数料徴収条例第2条1項による。
- (3) 使用料は、前納しなければならない。
- (4) 飲食を伴う場合、1回当たり3,000円を徴収する。ただし、合宿等生徒が使用する場合は、徴収しない。

様式1

兵庫県立佐用高等学校塔陵館利用許可願

兵庫県立佐用高等学校長 様

平成 年 月 日

利用責任者 住 所

氏 名

印

「兵庫県立佐用高等学校塔陵館管理運営規則」と「塔陵館利用細則」を守り、下記の目的を持って同窓会館を使用させていただきたいので、ご許可くださいますようお願いいたします。

記

利用期間	平成 年 月 日（曜日）	時 分 より
団体名	平成 年 月 日（曜日）	時 分 まで
代表者名		連絡先 Ⅲ
目 的		
飲 食	1 有 2 無	
利用場所	1 第1研修室 2 第2研修室 3 第3研修室 4 調理室	
利用者人数	名（男 名 女 名）	
使用備品等		
そ の 他	持込物品等	

母 校 だより

母校の近況

教頭 河野雅晴

母校の近況について、進路、部活動、生徒会活動、農業クラブ活動、家庭クラブ活動等の各分野からその活動状況を報告いたします。

一 進路状況

●就職について
昨年度の米河期的な状況から明らかな見え、今年度の求人数そのものは減少しましたが地元（西播磨）求人数が増加したことが大きな特徴です。

学校紹介での就職希望者は66名で、そのうち55名が内定し、11月1日現在内定率は83%となっています。職種は製造業が最も多く、他に営業・事務・接客サービス・介護福祉等です。不調者は9名（昨年度は同時期で約30名）、この状況だけでも景気の良さが伺えます。不調の原因としては、面接試験の失敗・筆記試験での不調が多いようです。実際に欠席日数が多いことを指摘された企業もありました。平日頃の学校生活の頑張りや就職内定に直結することは紛れもない事実です。

今後の社会景気の予想は改善されつつとはいえ、厳しい状況は続きます。企業は欲しい人材をシビアに選考します。その選考に勝負できるだけの力を活用高校で身につけてほしいものです。

●進学について

夏からAO入試が、10月から指定校推薦入試が実施され、その他の入試も順次実施されています。現在、国立四年制大学に1名が合格しているほか、私立の四年制・短期大学へ27名の生徒が、専門学校へ43名の生徒が合格いたしました。（校内届け出分、11月16日現在）校内ではこれらの入試に対応し

二 部活動状況

◎運動部（主な戦績）

◎陸上競技部

男子 3000m SC (予) 11位
女子 200m (活用高校新記録)
大西ひかり (予) 7位
女子 400m
大西ひかり (予) 6位
女子走高跳
秦 茉莉奈 (予) 11位
男子女子共に出場

◎野球部

第九十二回全国高等学校野球選手権大会県予選大会ベスト16
応援優秀賞、昨年八月の豪雨災害のボランティア活動が認められ、西田直矢主将が全国大会開会式の先導役を務める

◎バドミントン部

西播大会
男子ダブルス ベスト8
男子シングルス ベスト8
岡田・西門組、竹田・谷口組

◎卓球部

男子シングルス 10位（県大会）
男子ダブルス
男子団体
2回戦（県大会）

男子ダブルス ベスト8
男子シングルス ベスト8
男子団体
松阪 純、小寺康正（県大会）

◎柔道部

男子団体 県新人大会に出場
女子団体 2回戦・敗戦
男子個人 ベスト8（県大会）
女子個人 4回戦
北西播大会
女子団体（第3位）
2回戦 3対0 香寺
4回戦 1対2 龍野

◎サッカー部

対 尼崎福園 0-6
対 龍野 0-1
対 山崎 7-1
2位グループ（ナメント）
対 上郡 3-1
対 太子 3-1

◎女子バレーボール部

西播大会
前期リーグ戦（3部）3部残留
対 太子 3-1
対 山崎 7-1
2位グループ（ナメント）
対 上郡 3-1
対 太子 3-1

◎文化祭

兵庫県高等学校青少年赤十字協議会加盟式（日本赤十字兵庫支部）参加
サンホームみかづき納涼祭

◎ボランティア

朝陽ヶ丘花納涼祭 ボランティア
兵庫県高等学校青少年赤十字夏季リレーシップボランティアセンター参加
いっしょに運動会 ボランティア
吹奏楽部 ボランティア
すまいるフェスタ 出演
佐用町桜まつり 出演
兵庫県吹奏楽コンクール 観賞
パリオーストラリア・イン・佐用 出演
佐用ライオンズクラブ
四十周年記念式典 演奏
吹奏楽連盟西播磨支部定期演奏会 出演
JFA兵庫西佐用農業まつり 出演
西播磨高校美術展
奨励賞 小林明日香
兵庫県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門展 出品
佐用町復興支援車両のデザイン製作
《美術部（授業）》
《ジャンボヒーローキャラクターコンクール》
最優秀賞 稲谷裕子
優秀賞 松原 芹
佳作 森 圭祐・坂本彩夏
《囲碁・将棋部》
第37回播磨県馬地区高校将棋大会
団体10位
《茶道部》
お茶席
《さよう文化祭》
お茶席
《サンホームみかづき》
演奏会
《観月会》
出演
《さよう文化祭》
出演
《写真部》
西播春写真コンテスト
入選 山崎裕太
佳作 勝本徳野香
佳作 田邊真奈
佳作 寺田由美
佳作 野村有希
佳作 福本莉奈
兵庫県春写真コンテスト

ボランティア
朝陽ヶ丘花納涼祭 ボランティア
兵庫県高等学校青少年赤十字夏季リレーシップボランティアセンター参加
いっしょに運動会 ボランティア
吹奏楽部 ボランティア
すまいるフェスタ 出演
佐用町桜まつり 出演
兵庫県吹奏楽コンクール 観賞
パリオーストラリア・イン・佐用 出演
佐用ライオンズクラブ
四十周年記念式典 演奏
吹奏楽連盟西播磨支部定期演奏会 出演
JFA兵庫西佐用農業まつり 出演
西播磨高校美術展
奨励賞 小林明日香
兵庫県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門展 出品
佐用町復興支援車両のデザイン製作
《美術部（授業）》
《ジャンボヒーローキャラクターコンクール》
最優秀賞 稲谷裕子
優秀賞 松原 芹
佳作 森 圭祐・坂本彩夏
《囲碁・将棋部》
第37回播磨県馬地区高校将棋大会
団体10位
《茶道部》
お茶席
《さよう文化祭》
お茶席
《サンホームみかづき》
演奏会
《観月会》
出演
《さよう文化祭》
出演
《写真部》
西播春写真コンテスト
入選 山崎裕太
佳作 勝本徳野香
佳作 田邊真奈
佳作 寺田由美
佳作 野村有希
佳作 福本莉奈
兵庫県春写真コンテスト

◎放送回好会

出展 大会 司会
立川連携事業（関西学院大、市立伊丹高校）「地域のよいとこ探し」参加

◎生徒会活動

6月「アトリエ太陽の子」中嶋洋子先生を招いて命の授業塔
11月 奄美豪雨の義援金活動
12月 広城連携事業（関西学院大、市立伊丹高校）「地域のよいとこ探し」参加

◎学校農業クラブ

年間を通して豪雨災害復興支援活動（商店街に花を植えたプランター）を配布、自作の紙芝居により小学生を元気づける、復興イベントへの参加、活動発表等を行う。

◎学校家庭クラブ

6月 リーダー講習会（但馬）
7月 家庭調査員（加古川）
8月 家庭調査員（加古川）
9月 家庭調査員（加古川）
10月 家庭調査員（加古川）
11月 家庭調査員（加古川）
12月 家庭調査員（加古川）

◎その他

国税庁長官賞 船曳芽生
租税教育推進協議会長賞 中嶋拓也

三 その他の活動状況

《生徒会活動》
6月「アトリエ太陽の子」中嶋洋子先生を招いて命の授業塔
11月 奄美豪雨の義援金活動
12月 広城連携事業（関西学院大、市立伊丹高校）「地域のよいとこ探し」参加

《学校農業クラブ》
年間を通して豪雨災害復興支援活動（商店街に花を植えたプランター）を配布、自作の紙芝居により小学生を元気づける、復興イベントへの参加、活動発表等を行う。

《学校家庭クラブ》
6月 リーダー講習会（但馬）
7月 家庭調査員（加古川）
8月 家庭調査員（加古川）
9月 家庭調査員（加古川）
10月 家庭調査員（加古川）
11月 家庭調査員（加古川）
12月 家庭調査員（加古川）

《その他》
国税庁長官賞 船曳芽生
租税教育推進協議会長賞 中嶋拓也

《生徒会活動》
6月「アトリエ太陽の子」中嶋洋子先生を招いて命の授業塔
11月 奄美豪雨の義援金活動
12月 広城連携事業（関西学院大、市立伊丹高校）「地域のよいとこ探し」参加

平成22年度 在籍生徒数

(11月1日現在)

	1 年	2 年	3 年	計	学級数
普通科	152	139	149	440	12
農業科学科	39	38	35	112	3
家政科	30	29	28	87	3
合 計	221	206	212	639	18

進路状況 平成21年度(62回生)進路状況

		合 計			農業科学			家 政		普 通		
		男	女	計	男	女	計	女	計	男	女	計
卒 業 者 数		129	81	210	37	1	38	23	23	92	57	149
進 学	大 学	52	24	76	3	0	3	1	1	49	23	72
	短 期 大 学	2	15	17	0	0	0	5	5	2	10	12
	専 修 ・ 各 種 学 校	30	25	55	7	0	7	5	5	23	20	43
	予 備 校	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
	計	85	64	149	10	0	10	11	11	75	53	128
就 職	民 間 企 業	38	13	51	24	0	24	9	9	14	4	18
	公 務 員	3	0	3	0	0	0	0	0	3	0	3
	経 営 者	3	1	4	3	1	4	0	0	0	0	0
	家事手伝い・その他	0	3	3	0	0	0	3	3	0	0	0
	計	44	17	61	27	1	28	12	12	17	4	21

平成21年度 同窓会会計決算書

収入総額 3,807,852円

支出総額 2,438,067円

差引残額 1,369,785円……次年度繰越

収入の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
会 費	2,386,800	2,345,700	△41,100	300円×12ヶ月×生徒数
入 会 金	236,000	236,000	0	1,000円×236人
繰 越 金	894,470	894,470	0	
雑 収 入	269,833	331,682	61,849	記念誌代、名簿代、利息
計	3,787,103	3,807,852	20,749	

支出の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	残 額	備 考
会 議 費	50,000	5,040	44,960	総会お茶代
部 活 動 後 援 会 費	200,000	200,000	0	部活動後援会費補助
負 担 金	200,000	200,000	0	佐用高校を育てる会補助
通 信 費	50,000	0	50,000	
広 報 費	1,700,000	1,312,732	387,268	同窓会報「塔陵」印刷、発送代 他
支 部 活 動 費	140,000	132,000	8,000	各支部へ
体 育 奨 励 費	30,000	27,000	3,000	図書カード(9名)
旅 費	50,000	0	50,000	
会 館 維 持 費	20,000	16,400	3,600	建物共済保険
100 周 年 事 業 費	330,000	324,315	5,685	臨時職員報酬
雑 費	50,000	580	49,420	レタックス
人 件 費	220,000	220,000	0	パート職員報酬
予 備 費	747,103	0	747,103	
計	3,787,103	2,438,067	1,349,036	

(平成22年3月末現在)

